

## 1. 未来ビークルシティリサーチセンター第16回シンポジウム開催報告

未来ビークルシティリサーチセンター  
低炭素社会と安全・安心コア  
電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

低炭素社会実現に向けて、自動車の環境負荷低減技術の開発とその実用化・普及を促進する産学官連携が期待されています。このような背景の下、平成24年12月10日に本学において、「環境先進車両の開発動向と次世代給電技術」と題して、未来ビークルシティリサーチセンター第16回シンポジウムを開催致しました（別添プログラム参照）。



大平 孝 教授  
(豊橋技術科学大学)

本シンポジウムでは、新しいコンセプトに基づく電気自動車の次世代給電技術ならびに二次電池を活用した環境先進車両の開発状況、および、産学官連携による中部地域の次世代自動車地域産学官フォーラムの取り組み状況に関して、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きました。



川島 博幸 氏  
(スズキ (株))

まず始めに、走行中の電気自動車へ路面から給電する技術の開発状況について、本学電気・電子情報工学系 大平教授からデモンストレーションも交えてお話を伺いました。続いて、スズキ (株) が推進する電気自動車開発への取り組みについて、スズキ (株) 開発企画部 川島氏にご講演頂くとともに、中部経済産業局次世代自動車室長 柳原氏に、次世代自動車地域産学官フォーラムの取り組み状況についてご紹介頂きました。



柳原 和男 氏  
(中部経済産業局)

当日は、学外から51名、学内から75名、計126名の参加者があり、質疑応答においても活発な議論がなされ、盛会のうちに講演会を終了致しました。

末尾ながら、本シンポジウム開催に当たりご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます。

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター  
第16回シンポジウム

# 「環境先進車両の開発動向と 次世代給電技術」



- 日時：平成24年12月10日(月)13:30～16:10
- 場所：豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101
- 主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
- 後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会
- 協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE 名古屋支部、自動車技術会

## プログラム

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:30～13:35 | <b>開会挨拶</b><br>豊橋技術科学大学 副学長<br>未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義                              |
| 13:35～14:25 | <b>【講演1】</b><br><b>「走行中の電気自動車へ路面から給電する技術の開発」</b><br>豊橋技術科学大学<br>電気・電子情報工学系 教授 大平 孝   |
| 14:25～14:35 | <b>休憩</b>  |
| 14:35～15:25 | <b>【講演2】</b><br><b>「スズキの電気自動車開発への取り組み」</b><br>スズキ(株) 開発企画部<br>第二プロジェクト 技術専門職 川島 博幸 氏 |
| 15:25～16:05 | <b>【講演3】</b><br><b>「次世代自動車地域産学官フォーラムの取り組み」</b><br>中部経済産業局<br>次世代自動車室長 柳原 和男 氏        |
| 16:05～16:10 | <b>閉会挨拶</b><br>豊橋技術科学大学<br>電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司                                       |